

「東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）調査発表会」開催報告

1. 開催概要

日時：2011年6月10日(金)13:00～16:30

場所：住宅金融支援機構 すまい・るホール

主催：国土交通省国土技術政策総合研究所、独立行政法人建築研究所

共催：独立行政法人住宅金融支援機構

2. 会場の様子



開会の挨拶（建研 伊藤理事）



会場の様子



発表の様子



閉会の挨拶（国総研 水流副所長）

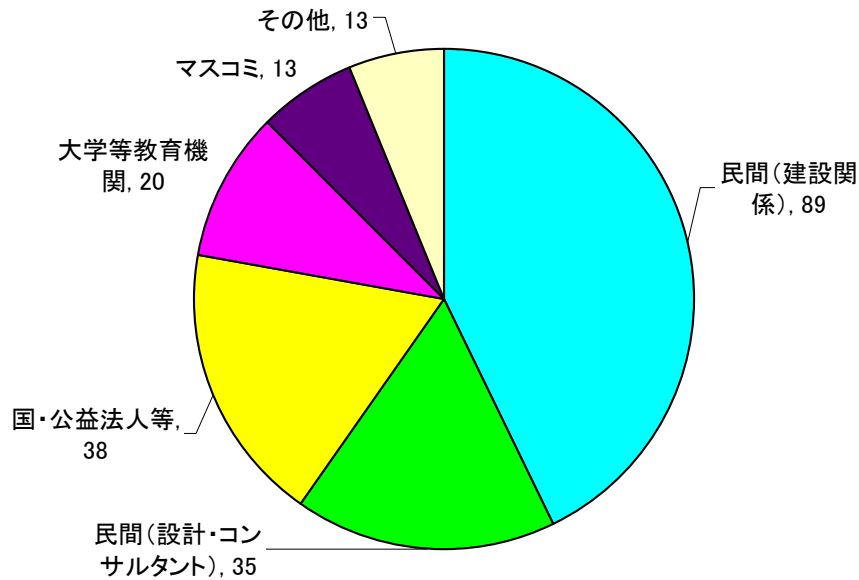
3. 内容

国土技術政策総合研究所及び独立行政法人建築研究所では、地震発生直後より、専門家の現地派遣による建築物被害調査や復旧方法検討に関する技術的支援等を進め、その成果を中心に報告した。

本調査発表会の参加者については、5月31日(火)9:00より国総研HPにおいて募集した結果、10時前に定員・締切となり、当日は満席となった。また、会場では、木造建築物や鉄骨造建築物の被害の特徴、液状化被害状況や津波避難ビルガイドライン等についての質疑応答が行われるなど、参加者の関心の高さがうかがえた。

4. 来場者数

208名



○当日のプログラム・発表者等

13:00～13:05 開会の挨拶	独法建研 理事 伊藤 弘
13:05～13:15 国土交通省の活動	国土交通省 住宅局 企画専門官 高見 真二
13:15～13:25 住宅金融支援機構の活動	支援機構 CS推進部 技術情報G長 河田 崇
13:25～13:40 地震と津波の特徴	独法建研 国地C 主任研究員 藤井 雄士郎
13:40～13:55 地震動の特徴	独法建研 国地C 主任研究員 鹿嶋 俊英
13:55～14:10 地震動被害の特徴(木造)	国総研 総政C 評価システム研究室長 槌本 敬大
14:10～14:25 地震動被害の特徴(RC造)	独法建研 構造研究G 上席研究員 福山 洋
14:25～14:40 地震動被害の特徴(鉄骨造)	独法建研 構造研究G 主任研究員 長谷川 隆
14:55～15:10 地震動被害の特徴(宅地・地盤)	国総研 建築研究部 主任研究官 新井 洋
15:10～15:25 地震動被害の特徴(非構造)	独法建研 建築生産G 主任研究員 脇山 善夫
15:25～15:40 津波被害の特徴(木造)	独法建研 構造研究G 研究員 荒木 康弘
15:40～15:55 津波被害の特徴(RC造)	独法建研 構造研究G 主任研究員 加藤 博人
15:55～16:10 津波被害の特徴(鉄骨造)	独法建研 国地C 主任研究員 石原 直
16:10～16:25 火災被害の特徴	国総研 総政C 主任研究官 岩見 達也
16:25～16:30 閉会の挨拶	国総研 副所長 水流 潤太郎

<運営・事務局 企画部、建築研究部、住宅研究部>